資料１

静岡型小中一貫教育施設分離型　末広中学校区グループ（愛称：末広学園）小中一貫教育構想 Ver. 15(R7 年度版)

末広学園エンブレム　愛称(略称)：「末広学園」

この愛称は、教職員、児童生徒、地域における一体感を醸造するための合い言葉の意味合いをもたせたもので、末広学園という施設一体型の学校を目指すものではありません。

児童生徒のつよみ

・明るく素直で、友達と協力して活動できる。
・委員会活動や係活動等、任された仕事に対して、責任をもって着実に取り組むことができる。
・授業の学習規律が確立していて、落ち着いた雰囲気の中で学習を進めることができる。
・各授業の学習課題・学習問題に対して、自分の考えをもち、自信をもって表現することができる。

地域の特色

静岡市の中心部に位置しており、静岡駅の北西部及び南部の一部に広がっている。かつては古い歴史を持つ中小家内工業地帯で、現在も家具製作、製茶などの製造業、建築業、あるいは商業関係の職業従事者が多く、市の中心部ではあるが下町的な雰囲気をもっている。また、古くからの市街地であるため、人口の流出入は比較的少ない。四つの自治会連合会との連携は良好であり、学校教育や児童・生徒の健全育成に対しても非常に協力的である。

視点１：学校教育目標を共有

末広学園教育目標　「自立　共生」（「たくましい心　豊かな心」）

＜軸となる取組＞

児童生徒一人一人を大切にした 人権と多様性を基盤とした教育活動の展開

心を耕す学習の充実

授業創り部、健康担当部、道徳人権教育部、学校図書館部

①人権や多様性に関わる道徳等の授業の充実
②対話を通じて学びを広め、深める授業づくり
③心と体を育む読書・健康保健指導

特別支援教育の推進

生徒指導部、特別支援部

①個別の支援計画、相談活動等に基づく個に応じた支援の充実
②生徒指導・支援に関わる小中接続の円滑化
③UD 授業、環境の推進

地域協働学習・活動

総合的な学習・生活部、特別活動部

①地域から学び、地域に発信する探究的な総合的な学習
②地域学校協働活動の積極的な推進
③地域と連携した主体的な特別活動

ＩＣＴの推進

ICT 推進部

①ICT 教育年間計画に従った活動の実施　②児童生徒が自ら学習用端末を有効活用するための手立ての工夫
③小小、小中、学校外との接続を通じた交流・連携の促進

視点２：９年間の連続性・系統性の教育

校務分掌組織末広システムによる取組

視点３（１）：職員の協働

各教科の系統的な指導による実践

【道徳】	【各教科】	【英語】
・心を育む道徳,人権教育計画の作成と実践	・年間指導計画の協働による作成と実践	・中学校教諭による小学校授業 ・英語授業相互参観

たてのつながりを強化した末広学園小中一貫指導カリキュラム

職員研修・協働

①互いの公開授業参観　④全体研修
②末広学園の日の設定と活用　⑤授業研究
③スタートカリキュラムによる幼・小連携

視点３（２）：小中学生の交流

学年部の創意工夫による実践

１年：共通カード作成	６年：中学校見学・体験
２年：「いいねカード」交流	７年：小学生向け動画作成
３年：交流掲示板の活用	８年：職業調べまとめ
４年：ワークシート、ノート交流	９年：部活動動画紹介
５年：命の授業	特別支援部：特支教育連携

児童・生徒の特性を活かした創意ある末広学園学年カリキュラム

様々な交流活動

①あいさつ運動に関する児童会・生徒会の話し合い交流 、あいさつ訪問
②地域の方々との協働したあいさつ運動
③中学校見学・部活動体験・３小学校交流

視点４：地域との連携

よこのつながりを基盤にした末広学園地域協働カリキュラム

末広中学校区学校運営協議会　～みんなが「しあわせ」を感じる地域～

委員　各地区連合自治会長　学識経験者　学校評価委員　各学校ＰＴＡ会長　各学校校長・教頭　青少年健全育成会代表
民生委員児童委員協議会代表　地域コーディネーター　こども園代表　（事務局：各学校教頭）